

保護者等向け **聴覚・ろう重複センターひまわり**
児童発達支援評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	4	2		人数が少ない時はいいが、多い日は狭くなるのではと思う	感染状況に鑑みて施設外の活動も取り入れるよう検討します
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	3	1	2		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1		1	災害が起きた時のアラームランプはついているか	災害時のアラームランプは設置しておりません。災害時は職員の誘導で避難するよう訓練を行っております
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			1		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	13					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	2				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1		1		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	8	4		1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	2	5	・夏祭りを子どもたちが楽しんでいたため、他にも兄弟が楽しめる活動をしてほしい ・夏祭り等、兄弟姉妹(障害のない子)も含まれるのなら「はい」と回答する ・夏休みのイベントが良かった。又、兄弟で参加できるイベントを考えてほしい	感染状況を鑑みて兄弟が楽しめる企画を増やすことも検討していきます
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	1				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	7	3	2	1		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	1			子どもがケガをして帰ってきたが、状況を聞いたら、きちんと説明してもらえた	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	1			
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	3		2		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	2		1	手話不必要関係なく、手話が必要な環境を作ってほしい	みんなが手話が共通語であることの意識を高められるよう働きかけていきます
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12		1			
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	2		1		
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	1					
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10	1		2		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13				これからもぜひ訓練を続けてほしい	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	13				・普段は楽しみにしているが、お友だちに叫ばれるから嫌という気持ちはある ・送迎で色々な場所を回るため、1番遅くなるのが嫌と言う時がある(河芸まで利用)	・お友達との関わりにおけるトラブル時にはその都度解決の時間を設け、安全に注意していきます ・順番に送迎を行っておりますのでご協力をお願い致します
	23 事業所の支援に満足しているか	12	1				

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年12月1日

事業所名 聴覚・ろう重複センターひまわり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		人数が多い日は公園遊びも実施 長期休み等人数が多い時は、幼稚部以下/小学部以上に分けて活動を実施	
	2	職員の配置数は適切である	○		柔軟な対応、手厚い体制	基準以上の職員を配置
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価を受ける予定なし
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年4回職員研修実施 キャリアに応じた研修を実施	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の状況に合わせて、その都度確認を行っている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日業務の最後に打ち合わせを実施し、連絡報告事項等を共有している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当する児童なし

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当する児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				当事業所では実施していない
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				当事業所では実施していない
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		障害の特性や広域にわたる地域性を考慮し、兄弟やお友達の企画実施	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		子ども部会がないが、あれば積極的に参加
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている		○	保護者対象の学習会開催	感染防止のため延期
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者対象の交流会開催	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的情報を大切にしている	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		日頃からの挨拶等を心掛けている		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年4回訓練を実施	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		ご家族の指示にもとづいて対応
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	4		・外遊びの時間を増やしてほしい ・宿題を集中する時間を設けてほしい	・感染状況に鑑みて施設外の活動も取り入れるよう検討します ・下校後の宿題の時間に集中して取り組める環境への理解を働きかけています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2		・手話ができる人を増やしてほしい ・介護福祉士を設置すれば更に適切	・介護福祉士の資格のあるスタッフも在籍しております
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	12				
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	1			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	2			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	3			
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			ちゃんと対応してもらいました	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12				
14 個人情報に十分注意しているか	12					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12				
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12			普段は楽しみにしているが、お友だちが叩いてくる、嫌なことを言うてくるから行きたくないと言う時はあった	お友達との関わりにおけるトラブル時にはその都度解決の時間を設け、安全に注意していきます
	18 事業所の支援に満足しているか	12				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年12月1日

事業所名 聴覚・ろう重複センターひまわり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		平日の公園遊びの実施 長期休み等人数が多い時は、幼稚園以下/小学部以上に分けて活動を実施	
	2	職員の配置数は適切である	○		柔軟な対応ができる職員体制	基準以上に職員数を配置
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価を受ける予定なし
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年4回職員研修実施 キャリアに応じた研修を実施	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の状況に合わせて、その都度確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日業務の最後に打ち合わせを実施し、連絡報告事項等を共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
関係機関や保護者	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		事例なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		事例なし

こ の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		障害の特性や広域にわたる地域性を考慮し、兄弟やお友達の企画実施	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	保護者対象の学習会開催	感染予防のため延期
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	○	保護者対象の交流会開催	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的情報を大切にしている	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		日頃からの挨拶等を心掛けている	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		ご家族の指示にもとづいて対応
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			